

# 脱炭素づくりとESD

## ～気候変動教育と、拠点の学び合い～

立教大学ESD研究所  
高橋敬子

# 気候変動教育（CCE）とは①

- **国連気候変動枠組み条約第6条(1994)**：気候変動に関する教育・訓練プログラムの開発と実施の促進。
- **UNESCO**がCCEをフラッグシップイニシアティブとして提案(2009年)。アフリカ諸国や小島嶼国で重点的に実施。
- **パリ協定第12条(2015)**：気候変動に関する教育、訓練、啓発、公衆の参加及び情報の公開を強化するための措置及び国際協力の重要性を確認。

- 1) 環境に関する具体的な行動計画を前進させる。
- 2) コミュニティのレジリエンスを強化する。
- 3) 気候変動の緩和と適応に対応するために、関連する知識、技術・態度を構築する。



## 気候変動教育（CCE）とは②

- ・開発途上国、先進国がともに直面している持続可能な開発と気候変動の課題に対応するもので、気候変動の**原因**と**影響**の理解に役立ち、**低炭素で気候にレジリエント（強靱）な発展を達成するために必要な個人やコミュニティのスキルや性質**の習得を促進するものである。
- さらに、**適応**と**緩和**の両方に関して、**気候変動への対応と教育制度の準備**を強化するものである。



# 日本の気候変動教育（CCE）の状況①

## ◆ 指導者（高橋ら 2016、2017）

- **指導者に必要な要件（能力や知識レベル）が確立されていない**  
ため、指導者が十分な知識や能力を身につけているかどうかは不明。
- 指導者に対する**体系的な研修**は見られない



- ◆ **プログラム実施者**への研修: 指導のレベルはある程度統一（秋田、京都、静岡）
- ◆ **指導者**向け研修を開始（福井）
- ◆ 現状では指導者の研修は行われていない（岡山）

- \* **各主体**: ある程度統一した知識・指導レベルの基準はある。**CCEとしての基準はない。**
- \* **指導者に対する体系的な研修**：プログラム内容ごとの研修はある。
- \* 学校現場に広げる場合: **教員に実施してもらうのか？ 出前授業？**

# 日本の気候変動教育（CCE）の状況②

## ◆展開方法（高橋ら 2016、2017）

- ・自治体による**CCEプログラム実施・支援体制の未整備**
- ・意見・情報交換の場の提供
- ・協働による**広範なCCE事業の実施・支援体制の未整備**



### 【協働の工夫】

・自治体**(環境、教育部署)**、企業や団体、NGO、学校間での協働関係がうまくいっている（京都・静岡）

・**県の環境部署**が主体となり、他部署や様々な主体に声をかけている（福井）

【展開の仕組み】**市の環境政策、家庭部門の温暖化対策の実行計画に教育が位置づけられている**（京都、静岡）

・他の自治体や主体への展開：**動画やガイドブック**の作成、展開のアドバイス（京都、静岡）

\***授業時間の確保(1時間以上)が課題**

# 日本の気候変動教育（CCE）の状況③

## ◆教育面 (Takahashi et.al 2015, 高橋ら 2016、2017)

・個人の環境配慮行動の実施を目的としたものが多い

→小学生対象:家庭内でのエコライフ（京都、静岡）

→中・高生対象:学校内/地域での活動につなげる（福井、秋田）

→社会人対象:地域での実践的対策を考える（岡山等）

\* 発達段階による活動(学習)範囲の設定や内容の選定

・知識の伝達が主で、普及啓発の側面が強い

→家庭内での行動を促すもの(京都、静岡):エコライフチェック&ふりかえり、活動

→地域での行動を促す（福井):ミステリー、ジグソー法

→学校(地域)での行動を促す（秋田):マニフェスト作成&模擬投票

→地域での実践的な対策を考える（岡山等）:地元学

# 日本の気候変動教育（CCE）の状況④

## ◆教育面 (Takahashi et.al 2015, 高橋ら 2016、2017)

・地域レベルで、**地域の気候変動政策**について**持続可能な側面**から判断して発言する力や、**地域で気候変動の活動**に取り組む等の能力を身につけることを目指した教育プログラムは不足。

→中・高生対象：**学校内/地域**での活動につなげるための力（福井、秋田）

→社会人対象：地域での実践的対策を考える（岡山等）

\*福井：身につけてもらいたい力を●●**コンピテンシー**として設定。**学習手法も合わせて設定。**

\*秋田・福井：**主権者教育**(自ら考え、判断し、行動していく)の視点を重視。

・教育教材として使用しやすい気候変動に関する**地域の公的データ**の不足

→地域の温暖化防止活動推進センターや環境NGO等だったので、地域のデータ利用は進んでいた。

\***県レベル**等で**影響等のデータ**が整理されていないところも多いのではないかと？